



# 灌水コンピューター “ジュニア”

502-310

## 取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。  
この取扱施工説明書は、別紙「コンピューター設定説明書」と合わせてご使用ください。

このたびは、灌水コンピューター“ジュニア”をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を表します。

**強制** 必ず実行していただく「強制」を表します。

**禁止** してはいけない「禁止」を表します。

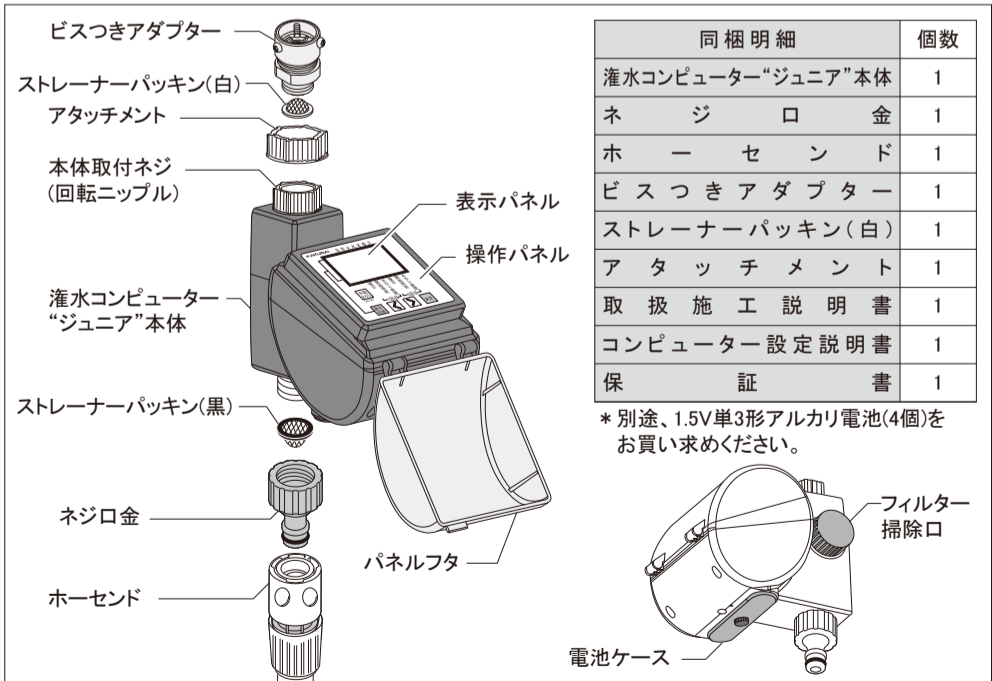
**分解禁止** 分解しないでください。

### 使用上のご注意

<b>必ず実行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず取外しのできる配管に取付けてください。</li> <li>●冬期には凍結破損の恐れがあるため、取外してください。</li> <li>●本品を使用しない時は、給水元の水栓ハンドルまたは元栓を閉めてください。</li> <li>●電池は必ず1.5V単3形アルカリ電池をご使用ください。(マンガン電池などの使用、および異種電池の混用はしないでください)</li> </ul>
<b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この機器は屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。</li> <li>●土中(散水栓ボックスなど)に取付けしないでください。</li> <li>●地表近く(地面から30cm以下)、横・逆向きには取付けしないでください。</li> <li>●通水方向を逆向きに取付けしないでください。</li> <li>●本体部に衝撃を与えないでください。破損の恐れがあります。</li> <li>●本品にものをのせたり、過度の荷重をかけたりしないでください。破損の恐れがあります。</li> <li>●お手入れの際、クレンザーなどの目の粗い洗剤やたわし、または酸性洗剤・ベンジン・油などは使用しないでください。表面を傷めたり、破損の原因となります。</li> </ul>
<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ノイズの発生原因となるポンプなどの動力機器、またはそれに接続される動力線付近に設置するとノイズで誤動作する場合があります。設置場所には十分ご注意ください。</li> <li>●夏期は製品本体の温度上昇によりパネル表示が見えなくなることがありますが、品質上問題ありません。温度が下がればパネル表示は元に戻ります。</li> <li>●植物を傷める恐れがありますので日差しの強いときには水やりを避け、早朝か夕方に行ってください。</li> <li>●長期間使用しないときは必ず電池を取外してください。電池の液漏れの原因となります。</li> <li>●定期的に電池の交換を行ってください。電池切れのまま放置すると電池の液漏れの原因となります。</li> </ul>
<b>分解禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分解・改造はしないでください。(アダプターを使つてのAC100Vとの結線など)</li> </ul>

### 製品同梱明細・各部のなまえ

■施工される前に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。



### 流量表

水圧(MPa)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
流量(L/分)	12.7	21.0	25.8	30.3	34.5

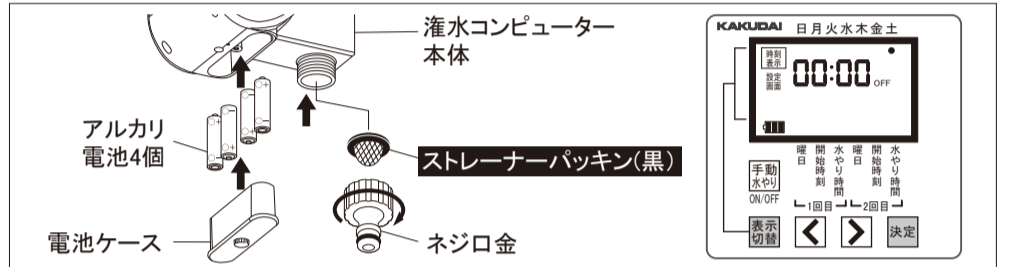
### 仕様

水やり日の間隔	曜日単位で設定可能
水やり回数(日)	2回まで
水やり開始時間	0:00 ~ 23:59(1分単位で設定可能) 手動: 随時実行可能
水やり作動時間	自動水やり・手動水やりともに1~30分(1分単位)、 30~90分(10分単位)、2~9時間(1時間単位)で設定可能 *手動水やりの水やり作動時間の初期設定は30分
使用流体	上水道水
使用温度	1~40°C
使用水圧	0.1~0.5MPa
使用電源	1.5V単3形アルカリ電池4個
設置場所	屋外
大きさ	高さ153ミリ×幅87ミリ×奥行140ミリ
質量	約0.5kg *電池を含む

### 取付方法

**必ず実行** 故障の原因となりますので、取付けの前に数秒間水を通し配管内のゴミなどを洗い流してから、水栓または配管の元栓を閉めて取付作業を行ってください。

#### 1. 電池を入れます。



①灌水コンピューター本体底部にある電池ケースを外し、電池ケースにアルカリ電池4個をセットします。

**注意**

- 電池を取付ける際は、極性(⊕⊖の向き)を間違えないように取付けてください。
- 新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 使用推奨期限内の新しい電池をご使用ください。

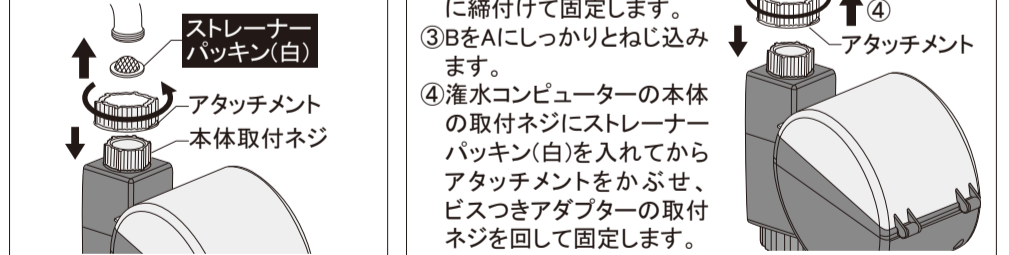
②電池ケースを閉め、表示パネルが上図のようになるか確認をします。  
\*長時間放置せずに電池を交換した場合には、設定した現在時刻が表示されます。  
③ネジロ金よりホーセンドを外します。ネジロ金の中にストレーナーパッキン(黒)が入っていることを確認したら、灌水コンピューター本体下部にネジロ金を取付けます。

#### 2. 灌水コンピューター本体を水栓に取付けます。

●水栓の先端に取付ける場合 水栓の先端形状を確認し、水栓に取付けます。

そのまま取付可能	ビスつきアダプターで取付可能	取付できません
<p>カップリング付き横水栓</p> <p>取付ネジサイズが 管用平行ネジG1/2</p> <p>カップリング</p>	<p>横水栓 万能ホーム水栓</p> <p>パイプ外径 16~23ミリ</p>	<p>自在水栓 取付ネジサイズが 管用平行ネジ1/2 と異なるもの</p> <p>特殊な形状</p> <p>地下散水栓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体が横向き、逆向きになる場所</li> <li>●地面から30cm以下の場所</li> <li>●凍結する場所</li> </ul>

①水栓からカップリングを取外します。  
②灌水コンピューターの本体取付ネジにストレーナーパッキン(白)を入れてからアタッチメントをかぶせ、水栓のネジ部に固定します。



●塩ビパイプなどの配管に取付ける場合

そのまま取付可能	取付できません
<p>バルブソケットなど</p> <p>取付ネジが管用平行ネジ1/2 または管用テーパネジ1/2</p>	<p>バルブソケットなど</p> <p>取付ネジが管用平行ネジ1/2 または管用テーパネジ1/2以外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体が横向き、逆向きになる場所</li> <li>●地面から30cm以下の場所</li> <li>●土中(散水栓ボックスなど)</li> <li>●凍結する場所</li> </ul>

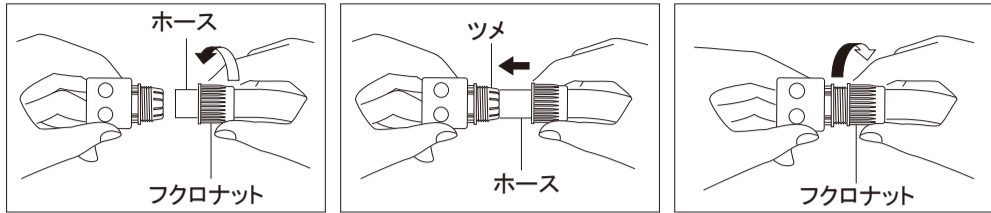
①管用テーパネジに取り付ける場合は、配管のネジ部にシールテープを7~8回巻き付けます。  
②灌水コンピューターの本体取付ネジにストレーナーパッキン(白)を入れてからアタッチメントをかぶせ、配管に固定します。

裏面へ続く➡

## 取付方法(つづき)

### 3. ホースにホーセンドを接続します。

- \* 内径11~15ミリ、外径16~20ミリのホースをご使用ください。
- \* 水圧が高い場合は耐圧(アミ入り)ホースをご使用ください。

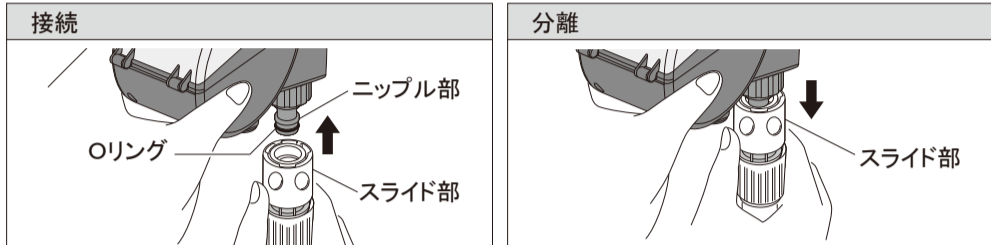


- ①ホーセンドのフクロナットを外し、ホースにフクロナットを通します。
- ②ホースをホーセンド本体のツメに深く差込みます。  
\* ホースが入りにくい場合は、ツメを少し広げてください。
- ③フクロナットを締付けます。

### 4. ホーセンドを灌水コンピューター本体に取付けます。

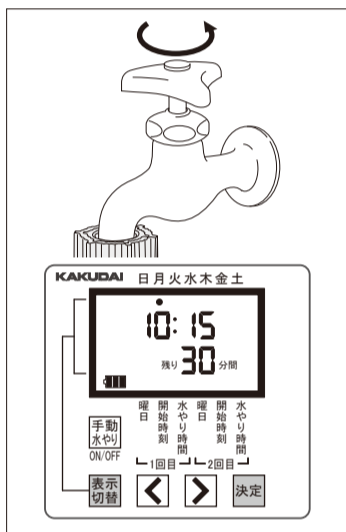
#### ●ホーセンドの接続と分離

- \* オリングに砂などが付かないようにご注意ください。



ホーセンドのスライド部を持ち、「パチッ」と音がするまでニップル部に差込みます。灌水コンピューター本体を持ち、ホーセンドのスライド部をつまんで矢印方向に引きます。

### 5. 取付後の点検を行います。(水もれの確認、流量の調節)



- ①水栓のハンドルを開きます。**表示切替** ボタンを押して**時刻表示** を選択し、**手動水やり** ボタンを押して水を出します。水が出たら水栓との接続部分に水もれがないか確認し、水栓のハンドルで流量を調節します。(表示パネルは左図のようになります)
- ②調節が終わったら、操作パネルの**手動水やり** を再度押して水を止めます。  
\* 他の器具と同時に使用すると、十分な流量が得られない場合がありますのでご注意ください。

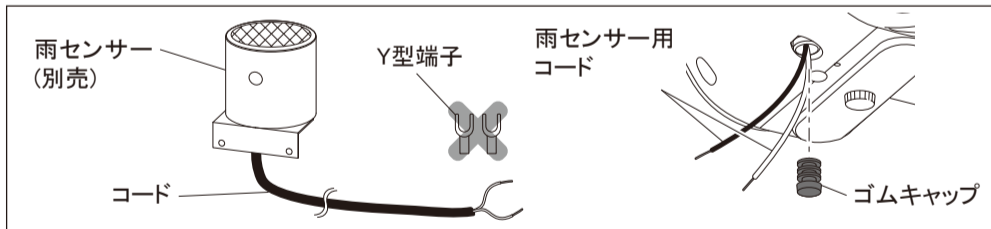
**必ず実行** 漏水が発見された場合は、ハンドルまたは元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。

### 6. 水やりの設定を行います。

別紙「コンピューター設定説明書」を参照し、水やりの設定を行います。

## 雨センサー(501-401:別売)取付方法

- \* 501-401に付属の説明書も合わせてご参照ください。
- \* 水栓に取付ける場合は、別売の「501-402 雨センサー取付け台」をご使用ください。

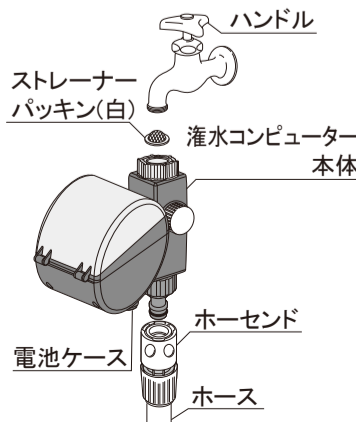


- ①本体下部のゴムキャップを取外し、雨センサー用コードを取出します。  
\* 取外したゴムキャップは、なくさないように保管しておいてください。
- ②取出したコードの先端の被覆を取除きます。
- ③雨センサー(別売)本体のコードのY型端子を切落とし、先端の被覆を取除きます。
- ④雨センサー用コードと雨センサー(別売)本体のコードを接続し、絶縁テープなどを巻いて保護します。  
\* 雨センサー用コードには極性(⊕⊖の向き)がありませんので、雨センサー本体のどちらのコードに接続しても作動します。

## 凍結による破損を防止するには…

**必ず実行** 冬期には凍結破損を防止するため、以下の手順で水栓から灌水コンピューター本体を取外してください。

- 取外しかた**
- ①水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
  - ②操作パネルの**手動水やり** を押し、本体内の水を抜きます。
  - ③ホーセンドを灌水コンピューター本体から外し、ホースを取外します。
  - ④水栓または配管から灌水コンピューター本体、ストレーナーパッキン(白)を外します。  
\* 取外したストレーナーパッキンは、なくさないようにご注意ください。
- 保管方法**
- ①灌水コンピューター本体底部にある電池ケースから電池を取出します。
  - ②灌水コンピューター本体を軽くふり、中の水分を抜いてから陰干しして乾燥させます。
  - ③直射日光の当たらない、屋内の高温・湿気を避けた場所に保管します。



## 電池の交換方法

- \* 取付方法「1. 電池を入れます。」を参考に交換してください。

## お手入れのしかた

本品の性能を維持するため、以下の手順で灌水コンピューター本体、ストレーナーパッキンおよびフィルターのお手入れを定期的に行ってください。

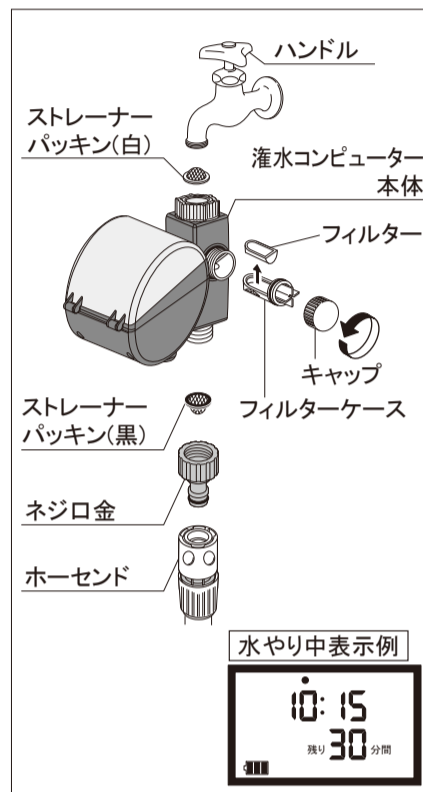
### ●灌水コンピューター本体のお手入れ

乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

**注意** 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

### ●ストレーナーパッキンおよびフィルターのお手入れ

流量が少なくなった時は、ストレーナーパッキンおよびフィルターが目詰まりしていることがあります。以下の手順でこまめにお手入れをしてください。



- ①水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
- ②操作パネルの**手動水やり** を押し、本体内の水を抜きます。  
\* 本体内に水が残っていると、水圧でキャップが外せなくなりますので必ず本体内の水を抜いてください。
- ③ネジロ金よりホーセンドを外し、灌水コンピューター本体下部からネジロ金を取外します。
- ④ネジロ金の内側からストレーナーパッキン(黒)を取出し、水洗いしてゴミを取除きます。
- ⑤水栓または配管から灌水コンピューター本体、ストレーナーパッキン(白)を外し、ストレーナーパッキン(白)を水洗いしてゴミを取除きます。
- ⑥フィルター掃除口のキャップを外し、コンピューター本体からフィルターケースを「ラジオペンチ」などで取出します。
- ⑦フィルターケースからフィルターを取出し、水洗いしてゴミを取除きます。
- ⑧②~⑦の逆の手順で組付け、水栓または元栓を開きます。  
\* 表示パネルが左図のような水やり中表示になっている場合は、**手動水やり** を押して水やりを終了してから、水栓または元栓を開いてください。  
\* 再組付けの後は**手動水やり** を押して通水し、各部より水もれがないかご確認ください。

## こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
表示パネル(液晶画面)が表示されない	電池が消耗している	新しいアルカリ電池4個と交換する
	電池が正しく取付けられていない	電池の極性(⊕⊖の向き)を確認し、正しく取付ける
設定した時刻になっても水やりしない	水栓のハンドルまたは元栓が閉まっている	水栓のハンドルまたは元栓を開く
	電池が消耗している	新しいアルカリ電池4個と交換する
	水やり設定ON/OFFが“OFF”になっている	水やり設定ON/OFFを“ON”に設定する
	水やり設定が完了していない	自動水やり設定画面で点滅している項目を設定する
水やり時の水量が少ない	雨センサーが作動している	雨センサーに水滴などが付いていないか確認する
	水栓のハンドルまたは元栓が十分に開いていない	水栓のハンドルまたは元栓を開き、流量を調節する
	ホースなどが折れている	折れないようにホースなどを設置する
	ゴミが詰まっている	本体内のストレーナーパッキンおよびフィルターや、使用のホースなどに詰まっているゴミを取除く
	水道の水圧が低い	灌水コンピューターに接続している器具(スプリンクラー、ノズルなど)の数量を減らす、設置位置を変える
	灌水コンピューターに接続している器具が多すぎる	灌水コンピューターに接続している器具(スプリンクラー、ノズルなど)の数量を減らす、設置位置を変える
水栓または配管との接続部分から水もれ	水栓または配管に正しく取付けられていない	「取付方法」を参照して取付作業をやり直す

\* 以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、ただちに使用を中止し、お買上げの販売店にお問い合わせください。

日本製

株式会社 カクダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

0418SG

M-I0155C

無断転載・複写を禁ず